

かだる!!
おおだて
de
子育て

日赤看護大学学院生が考案

「まちごと家族プロジェクト」

大館でフィールドワーク

おおだてまちごと家族 プロジェクト

日本赤十字看護大学

大学院看護学研究科

国際保健助産学専攻2年

★ぼかぼかはち★



学生さんたちがまとめたプロジェクト資料

地域の中で子育て世代も高齢者も、困った時に助け合える「顔の見える関係」を作ることが狙いです。プロジェクトには2つの柱があります。一つは同じ学区に住む多世代が集まれる交流会の開催。もう一

つは、学区内の未就学児がいる家庭をサポートするボランティア団体「おおだてっこ応援隊」の立ち上げです。交流会では皆で楽しめるイベントのほか、助産師さんによるお話を通して、地域全体で育児に関する知識を共有していきます。

このプランの重要な点は、「学区内で実施する」という部分です。交流会を通じて住民同士の顔見知りが増え、応援隊の活動によって皆で支え合う体制を築きます。地域全体で、子育てを見守るだけでなく、住民一人一人が自分の長所を生かせる機会にもつながります。

(執筆：島田真紀子)

日本赤十字看護大学大学院の学生5人が9月に大館市を訪れ、「地域全体で楽しく妊娠・出産・育児を続ける」というテーマでフィールドワークを行いました。学生さんたちは「わいわide子育てカフェ」を始め、助産院イスキアや大館市社会福祉協議会など、市内6つの施設を見学。

地域の現状を踏まえ、まとめたプランを送ってくれました。プランの名称は「おおだてまちごと家族プロジェクト」。大学院の授業の一環で考案・発表したのですが、行政事業の一部として民間と協働して展開することを想定しており、実現可能性の高い内容になっていま

す。